

第四十五回帝國議會 衆議院 少年法案外一件 (少年法案) 矯正院法案 委員會會議錄 (速記) 第二回

會議

大正十一年二月十六日午前十時三十分開議

出席委員 左ノ如シ

委員長 戸水 寛人君

理事 永屋 茂君

宮崎友太郎君 望月 政友君 蓮井 藤吉君

花城 永渡君 志賀和多利君 佐藤寅太郎君

吉良 元夫君 北山 一郎君 横山金太郎君

荒川 五郎君 野尻彌重郎君 樋口 秀雄君

同月十五日委員津原武君辭任ニ付其 補闕トシテ野尻

彌重郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員 左ノ如シ

司法次官

司法省監獄局長

司法事務官

山内確三郎君

山岡萬之助君

宮崎長五郎君

少年法案

矯正院法案

戸水委員長

荒川委員

澤山

澤山

澤山

澤山

澤山

澤山

澤山

澤山

澤山

澤山

澤山

澤山

澤山

澤山

澤山

澤山

澤山

澤山

澤山

澤山

澤山

フコトハ、一ノ行政處分デアリマス、入學モ一ノ行政處分デアリマス、サウシテ中へ入ルト御説ノ如ク教育デアリマシテ、之ヲ誘導指導スルコトニナリマス、本案ニ於キマシテモ其通りデゴザイマシテ、之ヲ入レル入レナイト云フ處分ヲスルハ、所謂入學退學ト同ジ事ニナリマス、行政處分即チ「保護處分」ト云フ字ヲ選ンテ譯デアリマス、ソレカラ處分ヲシタ後ニナリマス、左様ナ次第、此文ニ付テハ相當注意ヲ入レマシテ、處分「ト云フ字モ刑字處分ト對比シテ如何デアるか、少シ區別スルガ宜シクハナイカト云フ考モ固ヨリアリマス、左様ナ意味デ「處分」ト云フ字ヲ使タ譯デアリマス

○荒川委員 處分即チ此法案ノ全部デアリマス、其「處分」ト云フ文字ガ人ノ頭ニ響ク感ジカラ考ヘテモ、甚ダ不穩當ノヤウニ思フ、殊ニ此處分ハ入學デアリ退學デアルト云フ説明ハ當ラヌヤウニ思ヒマス、處分スルコトガ此案ノ仕事ノヤウニ思フデアリマス、其點ハ意見ニモ涉リマス、教育並ニ社會教育ニ依ッテ之ヲ行ヒタイト云フデアリマス、此案ハ普通ノ教育並ニ社會政策コリ離レテ、刑事政策デア行フト云フデアリマス、昨日モ多少ノ問答ヲ致シテ御説明モアリマシタ、本案ノ精神ハ「處分」ト云フ文字ガアルケレドモ、併シシレハ保護デア、教育デアトスレバ、之ヲ刑事政策ニ依ラナイノガ至當デアラウト思フ、立法者ノ出發點モソコニ在ルヤウニ思フ、隨テ案ノ大體ニ矛盾ガアリハシナイカト思フ、之ヲ御尋致シマス

○山内政府委員 只今、處分ノ文字カラ來テ、而シテ案ニ矛盾ハナイカト云フ御尋デアリマス、而シテ是ガ刑事政策デアルトカ云フコトガ、オカシイト云フヤウナ御趣意デアリマス、當局ニ於テハ毫モオカシイトハ無イト考ヘテ居リマス、刑事政策ト云ヘバ何カ非常ニ耳ニ響ク、單純ニ刑ヲ科スルノミガ刑事ノ目的テハナイデアリマス、刑ナカラシムルト云フノガ刑事政策ノ根本デアルト云フコトハ、御承知ノ事ト私ハ考ヘテ居リマス、故ニ少年ニ刑ヲ科スルト云フコトガイケン、刑ヲ科スルガ宜シイト云フ積極的ノ意味デハナイ、刑ナカラシムル所ノ目的ト云フモノガ、即チ此政策ノ一ツデア、而シテ刑ヲ科セズシテ之ヲ教養シテ行ク、又教養スルノニ教育ト云ヘバ、學校教育ニ限ルカノヤウニ言ハレルケレドモ、教育ノ方法ハ色々アルデアリマス、矯正シテ教育スル途モアリ、學校教育ニ於テモ或ル程度ニ於テ矯正シ、其

他ニ於テハ之ヲ自由ニスルト云フコトモアルデアリマス、而シテ之ヲ矯正シテ教育スル意味ニ於テ、之ヲ處分ト云フコトガ何所ニモ私ハ抵觸フルコトハ無イト考ヘテ居リマス、刑事政策ハ即チ刑ヲ科セザル意味ノ刑事政策デア、刑ハ刑ナキヲ期スルト云フ趣旨ヲ貫カウト云フノガ刑事政策デア、其點ニ於テ矛盾ガアルト云フコトハ、私ハ不敏ニシテ諒解スルコトガ出來ナイデアリマス

○荒川委員 刑ハ刑ナキヲ期スルト云フコトハ、此少年法ノ精神ノミナラズ、總テノ刑法、刑事ノコトガ皆ナ其精神ヨリ出發シテ居ルト思フデア、若シ刑ハ刑ナキヲ期スルト云フコトデ此案ヲ解釋セラレレバ、普通刑法モ同ジデア、然ラバ此案ノ刑事政策ナルモノハ、如何ナルモノ云フデアリマス

○山岡政府委員 此點ハ今日ノ刑事政策ト、社會政策ト云フモノ、關聯ヲ一言申上ゲテ御諒解ヲ得タイ、刑事政策ガ從前ニ於キマシテハ、唯ダ刑罰サヘ科セバ宜シイ、ソレデ自然ノ結果トシテ犯罪ガ無クナルノデ、刑ナキニ至ル、斯ウ云フ立場ニ在ッタノデア、所ガソレガ近時ノ總テノ政策問題ト云フモノハ、斯ノ如ク或事ヲ數量的ニ科シタデハナイ、其結果ニ到達スベキ趣旨ヲ以テ即チ目的ヲ以テ、仕事ヲシナケレバナラス、此所デ此「保護」ト云フ文字ガ總テノ方面ニ現レテ來タノデアリマス、ソレデ社會政策ト云ヘバ即チ社會ノ保護デア、個人ノ保護デア、刑事政策ト云ヘバ即チ個人ノ保護シ、之ヲ改善スルデア、斯ウ云フ風ニ變リ來ッタノデゴザイマス、即チ其刑ナキヲ期スルト云フ所ノモノヲ、直チニ最終ノ目的ヲ直接ノ目的ニ引上ゲテ來テ居ルノデゴザイマス、即チ社會政策ニ於テモ、此社會ノ保護ハ個人ノ保護デア、刑事政策ト云ヘバ、罪ト云フ事ニ關聯シタモノヲ保護スル、ソレニ依ッテ社會ヲ保護シ、個人ヲ保護スル、是ダケノ達デゴザイマシテ、趣旨ニ於テハ何モ違ヒナイ、社會政策ト云ヘバ廣イノデゴザイマス、刑事政策ヲ無論含ンデ居ル、併シ汎ク社會政策ト云ヘバ、犯罪或ハ刑ト云フ事ニ少シモ關聯ナキ所、即チ社會ノ不良ト云フ事柄ニ何モ關係ナシニ、社會ヲ保護シ個人ヲ保護ス、刑事政策ニナレバ不良ト云フ事ヲ一ツノ條件ト申シテ宜シイノデゴザイマス、サウ云フコトニ於テ社會ヲ保護シ、個人ヲ保護ス、是ダケノ話デアリマスカラシテ、ソコデ本案ニ於テ何ヲ目的トシテ居ルカ、不良行爲若クハ不良ナル人ヲ保護スル、斯ウ云フノデゴザイマスルカラ、即チ社會政策ノ精神ニ合致シ、本人ヲ啓發指導

シ、開發の方面ニ向フ譯デアリマス、斯ノ如キ趣旨カラシテ、要スルニ近世ニ於ケル少年保護ト云フモノハ問題ニナラズ、來マシタノゴザイマス、從前ノ如ク惡事ヲ爲セバ之ニ對シテ應報シテ置ケバ、ソレデ自然ノ結果トシテ刑ナキニ至ル、斯ウ云フナラバ、少年保護ト云フ問題ガ出テ來ナイノデアリマス、ソコデ之ガ變テ來タ譯デアリマス

○荒川委員 刑事政策ノ問答ハソレデ措キマス、此不良少年ハ多ク場合ニ、其身體ノ上ニ生理的缺陷ガアルノデアリ、又生付ニ缺陷ガアル者、並ニ精神上ニ生理的缺陷ガアル者、性質的缺陷ノアル者モアリマス、斯ル種類ノ者ガ即チ所謂不良少年惡少年デアル、其先天的遺傳的ニ於ケル場合ヲ除イテ、生理的ノ缺陷ヨリ不良少年不良幼年トセラレテ居ル者ハ少クナイノデアリマス、小學校ナドデ教員ノ命令ヲ守ラナイデ、兎角教員ノ頭ヲ悩メル者ガアル、ソレハ性質ノ惡ニ非ズシテ、身體ニ缺陷ガアル爲メニ斯ル結果ヲ現スノガ多ク、隨テ是等ヲ叱ルトカ罰スルトカ云フコトハ、無理デアルト云フ場合ガ多クデアリマス、生理的缺陷ヨリ生ズルモノニ更ニ精神上ニ壓迫ヲ加ヘルノデアリ、隨テ此不良少年ナル者ハ、身體的精神的ノ其等缺陷ヲ調査スルト云フコトガ、不良少年ノ教育保護ニハ第一ノ仕事デアラウト思フ、其等ニ付キマシテ此案ハ如何ナル御注意ヲ拂ハレマシタカ

○山岡政府委員 此先天的ノ外ニ生理的ノ缺陷ガアッテ其等ノ教育ニ付テ、其教育ヲ受ケルコトニ於テ記憶ガ鈍イトカ、判斷ガ惡イトカ云フコトデ叱ルコトハ、寧ろ無理ナ事デアルト云フ御趣旨デアリマス、ソレハ其通りデアリマス、生理上ノ缺陷ノアル者ヲ叱ッテ、精神上ニ壓迫シテ見タ所デ何ノ意味ヲ爲サヌ、ソレデアリマスカラシテ、生理上ノ缺陷ノアル者ハ之ヲ病院ニ送ル、或ハ醫師ヲシテ診察セシメテ適當ナル處置ヲ執ル、斯ウ云フコトガ此案ニ於テ豫想致シテ居リマス、病院ニ送致又ハ委託スル一項目デアリマス、其等ノ點ハ全ク今日ノ科學知識ニ依リマシテ、適當ナル處置ヲスベキモノデ、從前ノ如ク誰デモ同等ナル教育ガ出來ルト云ウテ、出來ナイ者ヲヒドク壓迫シテ教ヘ導クト云フガ如キ事ハ、是ハ元來酷ナ事デアリマス、左様ナ事ハシナイ積リデアリマス、詰リ生理上ノ缺陷ヲ補正シテ、ソレカラ教育ノ出來ル程度ニ於テ之ヲ導ク、精神上ノ缺陷ト申ス方面デハ、之ヲ矢張二ツニ分ケナレバナラス、精神上ノ缺陷ガ病的缺陷デアリマスレバ、精神的缺陷トシテ精神病學的ノ療治ヲスルノデアッテ、教育啓蒙スル譯ニ行カヌ、精神病學的ノ之ヲ治療致シマス、サウシテ或ル程度迄回復セシメサウシテ啓蒙スル、其外精神上ノ缺陷ガ單純ナ教育上ノ缺陷デアリ、知識ノ缺乏デアリ、感情ノ圓滿ヲ缺クモノデアレバ、此案

ガ直接ニ指導啓蒙シナレバナラス、所謂教育ノ缺陷或ハ家庭ノ缺陷カラ來タ精神異常、約メテ申シマシタナラバ、教育上ノ缺陷ト申シテ宜シ、サウ云フ程度ノ精神上ノ缺陷ナラバ、是ハ感化院若クハ矯正院ニ於キマシテ之ヲ教ヘ導ク、斯ウナリマスノデアリマス、ソレハ個人々々ニ適應スル處置ヲスルト云フコトガ、普通教育ト變テ居ル所デアリマス

○荒川委員 只今ノ點ハ本案ノ制定上其等ノ點ニ注意ヲ拂ハレタカ否カヲ御尋シタイノデアリマス、サウ云フ事ハ唯タ當事者ノ運用ニ任セテ、法案ノ上ニハソレヲ豫メ用意シテナイト云フノデアリマセウカ

○山岡政府委員 ソレハ只今一言致シマシタヤウニ、病院ニ委託シテ其缺陷ヲ除去スル、ソレガ爲メニハ三十一條ニ心身ノ狀況ニ付テハ醫師ヲシテ診察セシメル、療治ヲスベキ者ハ療治ヲシ、療治ノ要ラナイ者ハ教育ヲスルコトニ規定シテ居リマス

○荒川委員 ソレハ審判ヲセラレテ、ソレガ審判終結ノ上ノ仕事デアルノデアリマスガ、私共ノ心配スルノハ、其以前ニ其等ニ向テ最モ多大ノ注意ヲ要スルト思フノデアリマス、此案ニハ第四條ニ於テ審判ヲシタ結果處分ヲ爲ス、處分ノ一項ニハ病院ニ送ルト云フコトモアルノデアリマス、是ハ本文ニ明記セラレテ居ル、私モ一讀致シテ居リマス、其處分ヲ決スル以前ニ於テ、最モ重大ノ注意ヲ要スルト思フノデアリマス

○山岡政府委員 三十一條ノ二項ニ於テ、第一番ノ準備手續デ、少年ノ精神、即チ醫者ヲシテ生理上ノ缺陷アリヤ否ヤヲ調査セシメル譯デアリマス、即チ御説ノ通りニナリマス、準備の手續カラ審判手續ニ互リ、初メカラ醫者ヲシテ子供ヲ診サセバ、ソレカラ後デサウ云フ缺陷ガ調査ニ依ッテ明ニナリマスレバ、是ハ病院、斯ウ云フヤウナ順序ニナリマス、御説ノ通りデアリマス

○荒川委員 私ハ向ホ少シ大體ニ付テ質問ガアリマスカラ御尋致シマス、本案ハ十八歳未満ノ少年ニ適用スルノデアリマスガ、刑法ニハ十四歳ヨリ犯罪ノ能力アリトシテ、刑法ノ支配ニナッテ居リマス、此間兩方ノ支配ヲ受ケルコトニナルノデアリマスガ、本案成立ノ上ハ、刑法ニ相當修正ヲ加ヘラレノデアリマスガ

○山岡政府委員 十八歳ニ滿タナイ者ノ總テヲ包括スルコトハ、第一條ニ示サレタル通りデアリマス、隨テ刑法ノ適任年齡以下ノ者ヲ本案デ支配スルコトニナリマス、ソコデ只今ノ御質問ノヤウナ疑ガ出ル譯デアリマス、是ハ本案ノ根本問題ヲ申上ゲレバ宜シイ譯デアリマス、刑罰ノ制裁ヲ與ヘルナラバ、刑法ニ定メタ範圍デナレバ出來マセヌ、故ニ此

刑事處分責任年齡以上ノ者ニ限リマス、保護處分ハ刑事處分デアリマセヌノデ、全ク是ハ感化法ト同様ナ事デ、普通教育、感化教育、矯正教育ト云フヤウナ、刑罰ト懸離レタル事ヲアルノデアリマス、只今ノ感化法以外ニ今一ツノ教育施設、サウ云フモノヲ茲ニ造ラゲタノデアリマスカラ、十八歳未満デアリマスレバ、總テ此支配ヲ受ケマス、ソコデ是ハ教育デアリマスカラ、何等問題ガ起テ來マセヌ、唯一言附加ヘテ申上ゲテ置キタイ事ハ、昨日モ此處デ申上ゲマシタ事デアリマスガ、二十八條ノ二項ノ十四歳ニ滿タル者ハ大體直接ニハ處置ヲシナイ、地方長官カラ送致ヲ受ケタ場合ニ、始メテ少年審判ヲ致スト云フコトニナッテ居リマスガ、十四歳未満ノ者ヲ少年審判所デ直ニ取調ベルト云フコトデアリナクシテ、送致サヘスレバ何歳ノ者デモヤルト云フコトデアリマス、併シ地方長官ノ通知デ、普通ノ教育措置デハイカヌ、モウ少シ進ンダ措置ヲセバナラヌト云フコトニ送テ來ルカラ、サウ幼イ者ヲ送テ來ルコトハ無イノデアリマスガ、併シ法ノ立場ハ十八歳未満ニ於テ之ヲ支配スルト云フヤウナコトニナリマス

○荒川委員 此案ノ大體ヲ觀察致スト、先ヅ初ニハ東京ヨリ行ハレテ、終ニハ少クモ全國各地方裁判所ノ所在地ニ少年審判所ヲ置カレル豫定デ成立ッテ居ルヤウニ心得マス、ソレハ此案中ノ數箇條ノ規定ニ依ッテサウ思ハレマスガ、其積リデアリマセウカ

○山岡政府委員 東京、大阪ニ先ヅ置キマシテ、ソレカラ後ハ地方裁判所所在地ニ少年審判所ヲ順次擴張シテ行キマス、大體御話ノ通りデアリマス

○荒川委員 サウ致セバ先ヅ東京大阪ガ最モ必要デアリマセウガ、ソレヨリ順次全國ノ各地方裁判所所在地ニ置クノガ、凡ソ前途ノ位ノ豫定ニナッテ居リマスガ

○山岡政府委員 其點ニナリマス云フト、今日最モ困ッテ居リマスノハ、是ハ必要ガ生ジマスレバ生ズルガ順次ヤッテ行キマスルシ、今一ツハ國庫ノ豫算問題デアリマス、此方ノ許ス限ニ於テ、成ベク必要ヲ缺カヌダケニ進メタイト云フ希望ヲ持ッテ居リマス

○荒川委員 東京大阪ハ人多ク少年モ多ク、隨テ不良少年モ多ク居リマスガ、不良少年ノ保護教育ハ刻下ノ急務デアルト認メテ、急イデ此案ノ成立ヲ希望セラル、以上ハ、人多イ所ハ機關モ大キクスル必要ノアル所モアリマセウ、少年審判官保護司ヲモ多クスル必要モアリマセウガ、少ナイ所ニハ少クシテモ必要ハ必要デアルカラ、國家政策ノ上ヨリ見テ少年ノ保護ヲ致ス上ハ、一視同仁デアルベキコトヲ本則トセバナリマイト思フノデアリマス、今日地方ニ於テモ不良少年ハ決シテ少クナイノデアリマス、然ルニ政

府ノ考ハ、此法ヲ作テ東京ト大阪ニ行フ、ソレカラボツリボツリ行テ、費用デモ許セバ彼地此方ニ起サウ、斯ウ云フ前途甚ダ不確實ノヤウニ考ヘラレマス、茲ニ大ナル法律ガ全國民ニ施行スベク行ハルル以上ハ、之ヲ全國ニ行フベキコトヲ先ヅ本則トシテ、立テラレナケレバナラヌモノト思フノデアリマス、其等前途ニ付テハ更ニ御考察ハ無イノデアリマセウカ

○山岡政府委員 其點ハ理想ノ上カラ申シマスルト、御尤ノ御意見デアリマス、日本全國ノ少年ヲ同等ニ保護シナケレバナラヌト云フコトハ、法治國ニ於テハ勿論ノ事デアリマス、唯ダ實際ニ入ッテ考ヘルト、今實ニ困ッテ居ルハ先ヅ第一ガ大阪デアリマス、大阪ノ不良少年ト云ッテ、私ガ申上ダナクテモ大抵御承知デアリマセウガ、實ニ甚シク惡化シテ居ル、曩ニ五六人寄ッテ婦女ヲ殺害シタト云フガ如キハ最も極端ナルモノデアッテ、ア、マデノ不良行爲ヲスルニ至ッテハ何トモ言ヘナイ程度デ、東京ハ未ダソコマデ行カナイ、是大阪程度周圍ノ空氣ガ惡クナイカラデアリマセウガ、東京モ近時不良少年團ト云フモノハ、調ベテ見ルト相當數出來テ居ル、之ヲ棄テ、置イタナラバ、大阪ノ程度ニ至ルコトハ親易イ所デ、棄置ケナイ狀態デアル、所ガ其他ノ地方ニナルト未ダ以テソコマデハ至ラナイ、成程惡イ者ハアリマス、例ヘバ福岡ノ如キハ可ナリ惡イ者ガアリマスケレドモ、東京大阪ヲ外ニシテハ、例ヘバ名古屋ニシマシテモ、未ダ棄テ置ケナイ狀態ニナッテ居ラナイデアリマスカラ政治ノ實際ニナリマスルト、實際ノ必要ト云フモノヲ考慮シナイ譯ニハ參リマセヌ、理想カラ申セバ、無論ハ一視同仁ニ全國ニ行ハナケレバナリマセヌガ、實際ノ必要ハ先ヅ二箇所デアリマス、今一ツ此法案ヲ制定致シマシテ二箇所ニ實施致シマセバ、他ノ方ニ於テ假令少年審判所ガ出來マセヌデモ、少年ヲ扱フ者ニ於テ、檢事ニシテモ、判事ニシテモ、又警察官ニシテモ、此精神ヲ以テ少年ヲ扱ヒマス、即チ懲治ノ拘束ト云フヨリハ、保護ノ處置ヲ執ラナケレバナラヌコトニナル、其利益ハ渺クナイ、是ハ今日刑事訴訟法ノ下ニ於テ、保護觀念ヲ司法當局ト致シマシテ全國ノ司法官ニ傳ヘマシテ、兩三年前ヨリ特ニ訓令ヲ發シマシテ、犯罪少年ヲバスノ如クニ扱ハナケレバナラヌト云フコトニ致シマシテ、其効果ガ相當舉ッテ居リマス、即チ精神ヲ全國ニ傳ヘ、又方法ヲ全國ニ示シテ參リマスルト、直接ニ此法ヲ行ハナイデモ其效果ハ隨分多イト思フ、今日ニ於キマシテハ、他ノ處デハ其程度ガ直ニヤラナケレバナラヌト云フ程ニハナクテ居リマセヌ、要スルニ實際問題トシテ左様ニ定メタルデアリマス

○荒川委員 大體ノ質問ハ是デ了リマス——次ニ逐條ニ付テ御伺致シマスガ、第一條ニ「少年ト稱スルハ十八歳ニ

滿タサル者ヲ謂フ」トアリマスガ、其未滿中最下限ハ、其者ノ意思能力ノアル者ト云フコトヲ、常識的ニ限度トセラルル意デモアラウカト思ヒマスガ、本案ニハ其限定ガシテナイノデアリマスガ、其邊ニ付テノ御説明ヲ願ヒマス

○宮城政府委員 御質問ノ點ハ先程政府委員カラ申サレマシタ、二十八條ノ二項ニ關聯シテ居ルノデアリマス、審判所ト致シマシテハ働掛ケテヤル場合ハ十四歳、知事ノ方カラ感化法ニ依リ附與セラレタル權限ニ依ッテ送ッテ參リマシタ時ニ、始メテ御問ノヤウナ問題ガ起ルノデアリマシテ、其場合ハ感化法ノ問題ニ御譲リシタイト思ッテ居リマス

○荒川委員 第三條ニ、少年ノ軍人軍屬ニ付テハ除外シテアリマスルガ、少年ノ軍人軍屬ト云ヘバ、今日デハ唯ダ陸軍幼年學校ノ生徒ノミデアリマセウカ

○宮城政府委員 陸軍幼年學校ノ生徒、ソレカラ志願兵デ十八歳ニ滿タナイ者ナドモ這入ルト思ッテ居リマス、其他細カニハ軍務當局カラ聽キマセヌカラ分リマセヌガ、給仕職工ナドモ其他色ニアルヤウニ思ッテ居リマスガ、斯ウ云フモノモ這入ルカドウカハ、軍務當局ノ方ノ軍屬ト云フカドウカト云フコトハ未ダ聽イテ居リマセヌガ、併シ幼年學校ノ生徒ノミデアリナイト云フコトハ御答ガ出來マス

○荒川委員 第四條ノ訓誡ヲ加フルコト、學校長ノ訓誡ニ委スルコト、書面ヲ以テ改心ノ誓約ヲ爲サシムルコト、是等ハ皆ナ處分ヲシテ後ニ繼續スルモノニ非ズシテ、處分其時一時デ終ルモノ、ヤウニ大體見エマスガ、如何デアリマセウ

○山岡政府委員 其點ハ私ノ先刻申述ベタ所ニ牽連シマス、デ一寸一言附加ヘテ能ク申上ゲマス、此處分ト云フコトハ第一事實ヲ取調ベマシテ、サウシテ茲ニ一ツノ措置ヲ決定シマス、ソレカラ決定シテ後ニ、ソレガ決タモノヲ實施スルコトニナル、其實施スルノガ先刻申上ゲタ教育ノ内容ニナル、訓誡ヲスルコト、即チ斯ウ云フ風デハイケナイト云フコトヲ聽カセバ、措置ヲシテ後ニ、訓誡ト云フコトガ出テ來ル、之ヲ刑事裁判デ言ヘバ最も能ク分ル、刑事裁判ニ於テハ上告審マデノ關係ガアリマスカラ、確定裁判ニナッテカラ實行ト云フ問題ガ起ル、確定裁判ガ出タ後デナケレバ、本人ニ對シテ其措置ヲ執ルコトガ出來ナイ、是モ矢張處分ト云フ方ハ確定シテマデカウ、此事ガ内容ニ入ル、扱テ此處分ハ斯ウ決ッテカ人ヲ訓誡ヲ與ヘル、斯ク々々ノ意味デアルト云フ内容ヲ引イテ本人ヲ論ス、學校長ニ頼ンデ、ドウカノ兒ニ對シテ相當ナ訓誡ヲシテ呉レト云フコトニナル、先刻申上ゲマシタ點ガ、マダ徹底ヲ缺イテ居ルヤウデアリマス、サウ云フヤウニ區別ガ嚴然ト付イテ參リマス、處分ノ内容ヲ行フト云フコトハ即チ教育其物デアル、斯ウ云フコトニナリマス

○荒川委員 此訓誡ヲ加フルコト、是ハ一時ニ止マリマスカ

○宮城政府委員 其通りデアリマス、一號二號三號共ニ一度致シマセバ、ソレデ宜イト思ヒマス、引續キ長ク訓誡ヲ加ヘテ居ルト云フコトハ無イノデアリマス

○荒川委員 第五條ニ前條第一項第五號乃至第九號ノ處分ハ二十三歳マデ繼續スルトアリマスガ、此二十三歳後ハドウナルノデアリマスカ

○山岡政府委員 只今ノ御質問ノ點ハ二十三歳マデ矯正方法ニ依リ教育シマシテ、サウシテ未ダ改善ノ效ナキトキハ、ドウナルカト云フコトニ關スル御質問ト諒解致シマスガ、二十三歳ニナリマシテ尙ホ改悛ノ狀ナク、即チ教育ノ效ガ舉ラズニ終ッタト云フキデモ、是ハ已ヲ得マセヌ、二十三歳ニナレバ絕對ニ少年法デハ扱ハヌ、斯ウ條文デゴザイマス、此點ハ各國共色ニナッテ居リマスノデ、或ハ二十歳デ切ルト云フモノモ一ツノ例デアラウト思フ、二十歳ヲ越シテ少年ト云フコトハ言ヘナイ、所ガ此案ハ十八歳マデヲ收容スルコトガ出來ルコトニナッテ居リマスガ、ソレカラマア五年間、十八歳ニ收容スルコトニナレバ免ニ角可ナリ性格ガ出來テ居ル、ソレデドウモ矯正院マデ入レナケレバナラヌト云フ性質ノ惡イ者デアレバ二年ヤソコラデハイケナイカラ、五年マデハヤッテ置カウ、併シ三年位ヤッテ置カナケレバ實ハ效ハ無イケレドモ、三年トスレバ二十ニナルガ、モウ二年位餘裕ヲ取ッテ置イタラ宜カラウト云フ所カラ二十三歳ニ致シマシタ、事實ノ上ニ於テハ、矯正教育ハ舉ラナカッタト云フコトハ無カラウ、斯ウ云フ頭デス、併シ理窟ノ上カラハ舉ラナケレバ擧ラヌデモ已ムヲ得ナイ、少年ト云フ意味ハ去ッテシマウ、他ノ方法ニ遷ルヨリ外ハナイ、斯ウ云フコトニナリマス、獨リ私ハ少年法バカリデハナイ、感化法ニ於キマシテモ、二十歳ニナレバ必ズ出サナケレバナリナイ、其外刑罰處分ト同ジデアリマス、年齡ヲ限ッタモノニハドウモ遺憾ナル點ハ出來ルガ、已ムヲ得マセヌ譯デアリマス

○荒川委員 此繼續中ノ者ガ徵兵適齡ニナッタ場合ニ、如何ニ處置セラル、ノデスガ

○山岡政府委員 是ハ矯正處分ヲ汎ク觀察致シマシテ處分ノ競合ニナル、徵兵令モ一ツノ公ノ關係デアル、此法カラモ矢張公ノ意味デ處置ガ出來マス、ソコデ孰レガ勝ツカト云フ問題ニナリマス、矯正院ハ免ニ角公力ヲ以テ茲ニ拘束スルデアリマス、茲ニ一ツノ徵兵ニ召集スルト云フ所ノ障害ガ出タコトニナリマスカラ、其間ハ召集セラレヌコトニナル、保護ノコトニナリマセバ、保護司ノ觀察ニ付スルトカ、或ハ條件ヲ付シテ保護司ニ引渡シ、或ハ病院ニ依託シタト云フ如キハ、徵兵問題トハ何等關係ハ無イ、詰リ事實上ノ

拘束ノアル時タケサウ云フヤウニナル、此事ハ刑罰ノ法則ノ場合デモ同ジ事デアリマシテ、結局矯正處分ノ競合ノ問題デゴザイマシテ、此所デ解決シマセヌ、サウ云フ一般ノ法令ヲ以テ解決ガ出來ル事柄デアリマス

○荒川委員 少年保護司ノ觀察ニ付セラレタ者ガ入營シテモ、矢張ソレハ少年保護司ノ觀察ヲ致スノデアリマスガ、兵卒トシテ入營シテ居レバ軍隊ノ責任デアラウト思フ、只今御説明ニ依ルト、其分ハ關係ノ無イト云フヤウニ承リマシタガ如何デスカ

○山岡政府委員 矢張是ガ處分ノ競合デゴザイマシテ、入營シテ這入リマシテモ、其所ノ保護司ト云フモノガ職務ヲ以テ這入ル場所デアリマセヌ、ソレデアリマスカラ保護司ガ之ヲ訪ネテ、今ハドウ云ウ風ナ生活ヲシテ居ルコト云フコトノ相談對手ニナルト云フコトハ事實出來マセヌ、唯ダ併シシレガ宅ヘ戻タトカ、或ハ書面ヲ保護司ノ所ヘ寄越スト云フ可能ノ範圍ノ事柄ハ出來マス、要スルニ矯正處分ノ力ノ強イ方ガ勝ツ、是ハ逆デアリマス、是ハ兵役ノ方ガ強クナルカラ此方ガ弱クナル、サウ云フコトニナル

○荒川委員 第七條ニ罪ヲ犯シタ時十六歳ニ滿タナイ者ニハ、死刑無期刑ヲ科セナイデ、ソレガ死刑無期刑ニ當ル者ハ、十五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニスルト云フコトニ付テ、昨日司法次官ノ説明ニモ、少年ノ思慮分別未ダ十分デナイ、社會上ノ經驗モ乏シイ故ニ、極刑ヲ附スルコトニ例外ニ置イタノデアル、死刑無期刑ハ教養スルト云フ此法ノ精神ト、相容レナイカラデアルト云フヤウニ御説明ガアツタガ、斯ク思慮分別ガ十分デナク、又死刑無期刑ハ教養ノ精神ニ反スルト云ヘバ、其趣意カラ云ヘバ第二項モ同ジ事デアラウト思フ、然ルニ第二項ノ犯罪ニ付テハ、同ジ年齡デモ思慮分別ハ十分ナリトスルノデアリマス、又教養ノ精神ト相容レルト云フノデアリマス、サウスレバ第二項ハ第一項立案ノ精神ト矛盾シテ居ルヤウニ思ヒマス、事柄ガ重大ダカラト云フテ、思慮分別ノ十分デナイ者ガ間違テシタ事ナラバ、重大ハ同ジ事デアリマス、重大デアルカラ死刑無期刑ニ相當スル場合ガ起ルノデアリマス、ソコデ思慮分別ガ十分デナイ、社會上ニ經驗ガ乏シイ、且ツ一方ニ死刑無期刑ハ、教養ノ精神ト相容レヌト云フ趣意デ第一項ヲ設ケラレタモノナラバ、其精神モ第二項ニ於テモ貫クベキガ相當ト思フノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○宮城政府委員 各種ノ犯罪ヲ通覽致シマスルト云フト犯人ノ方面ニ法ヲ加ヘルノガ穩當トスル犯罪モアリマシテ、犯人ヲ考ヘテ居ル暇ナク、取締ノ方面ニ重キヲ置カナケレバナラヌト云フ犯罪モアルノデアリマス、ソコデ第七條ノ第一項ト第二項トハ左様ナ關係デアリマシテ、第二項ノ七

十三條七十五條ハ、御承知ノ通り皇室ニ對シマスル重大ナル犯罪デアリマシテ、國家ノ基本ニモ影響ヲ及ボスヤウナ犯罪デアリマシテ、是ハ取締ノ方ニ重キヲ置カナケレバナリマセヌ、第二條ハドウカト申シマスルト云フト、親殺デアルトカ、人倫ノ大本ヲ破壊スルヤウナ者デアリマシテ、子ガ親ヲ殺スト云フヤウナ事ハ、是ハ取締ノ方ニ重キヲ置カナケレバナラヌト云フヤウナ所カラ理窟ヲ貫キマスレバ御話ノヤウニシナケレバナリマセヌケレドモ、各犯罪ノ種類ニ從ヒマシテ、一項二項ト云フモノヲ置イタノデアリマス

○荒川委員 第十二條少年ノ假出獄ニ關スル規程ニ付キマシテハ、既ニ命令案モ出來テ居ルコトダラウト思ヒマス、本案ハ既ニ議會ニ三回モ現レ、今四回目デアリマスカラ、夙ニ御用意ノアルコト、思ヒマスガ、此案ノ定マルマデニ、其命令案ヲ參考トシテ御廻シテ願ハレマスカ

○山岡政府委員 其點ハ茲ニ命令ヲ以テ之ヲ定ムト何カ混入シタモノヲ書クヤウニ見エマセケレドモ、サウデアアリマセヌ、極ク簡單ナモノデアリマス、是ハ現今ノ假出獄取締規則ト云フモノガアリマシテ、假出獄者ニ對シテハ、是ハ警察官ノ監督ニ付ストアリマスカ、少年ノ假出獄者ヲ警察官ノ監督ニ付スト云フコトハ適當デナイ、ソレデ本案ニ於テハ少年保護司ノ觀察ニ付スト云フコトニナリマス、ソコデ根本ニ定メテ居リマスカラ、少年保護司ノ保護觀察規則ヲ特ニ作リマシテ、ソレト運轉ノ一定スレバ宜イダケデ、詰リ少年ノ假出獄者ハ保護司ノ觀察ニ依テ行フ、觀察規則ノ方ハ多少書カナケレバナリマセヌガ、此方ハ單純ナ、ソレダケノ事ニ止メテ置キマス、是ハ普通一般法ニモ關係ガアリマシモノデスカラ、此處ニ其事ヲ書イタノデアリマス

○荒川委員 觀察規則ノ出來上ツタモノハ御廻シニナラレマスカ

○山岡政府委員 本案ニ於キマシテハ、觀察スベキ少年ト云フ者ハ相當多數ニナリマスカラ、觀察規則ト云フモノハ、可ナリ注意ヲ要スル事柄デゴザイマシテ、勿論段々ト研究ヲ致シテ居リマス、デ今日既ニ其確定案ガアルコト申シマスレバ、今確定ハ致シテ居リマセヌ、ナレドモ材料ニ於テハ業ニ既ニ集メテゴザイマス、此法案通過ノ上ニ、之ヲ實施スル迄ニハマダ間ガアリマシテ、勿論確定致シマシテ之ヲ實施スル準備ハ出來テ居リマスガ、直ニ此案ヲ御廻シマスルト云フ度合ニハナラテ居リマセヌ

○荒川委員 第十三條「少年ニ對シテハ勞役場留置ノ言渡ヲ爲サス」ト云フコトハ如何デアリマス、サウシテ其言渡ヲ爲スベキ場合ニハ、ドウ云フ處置ヲ執ラレルノデアリマスカ

○宮城政府委員 是ハ刑法ノ十八條ニ關係シテ居ル條

文デアリマシテ、刑法ノ十八條ニ於キマシテハ、犯人ニ對シマシテ罰金ノ言渡ヲ爲シ、其犯人ガ罰金ヲ納メナカタトキニハ、幾日間勞役場ニ留置スルト云フコトニナラテ居ルノデアリマス、勞役場ニ留置スルト云フコトハ、罰金ヲ納メサセル一ツノ方法デアリマシテ、勿論監獄ニ設置サレテ居ル場所ニ置クノデアリマスガ、普通ノ懲役監ナドトハ違ヒマシテ、改過遷善ヲ勸ムルト云フ場所デアリマシテ、其處デ勞作ヲサセテ、料金ヲ得テ罰金ニ充當サセヤウト云フ施設デアリマスカラ、少年ノ如キ保護ヲ旨トスル者ニ對シマシテハ、勞役場ニハ留置スルトハ、保護ヲ完ウスル所以デナイト云フ所カラ、刑法ノ十八條ニ對シマシテ特例ヲ設ケタ所以デアリマス

○荒川委員 其場合ニハ罰金ヲ納ムベキ旨ヲ、納メナイ儘デ放任シテ置クト云フノデセウカ

○宮城政府委員 罰金ノ徵收方法ハ、只今刑法ノ十八條ニ付テ申シマシタガ、其外刑事訴訟法ニモ徵收方法ナドガアリマシテ、刑法ノ十八條ニ依ル罰金ヲ納メナイ爲ニ、自由ヲ拘束スルト云フコトハ致サヌ、併ナガラ刑事訴訟法ノ方ニ於テ取レルダケノ罰金ハ取ル、斯ウ云フ事ニナルノデアリマス、言渡シタ罰金ヲ取ラヌデ宜イト斯ウ云フ意味合デハナイノデアリマス

○荒川委員 第十八條、少年審判所ニ於テ少年審判官、少年保護司及書記ヲ置ク「斯ウナテ居リマス、其事ニ付テ昨日御尋ガアリマシテ、大體答ヘラレマシタガ、裁判官ニ付テハ裁判官ノ採用ノ規則ガアリマス、ソレト同ジヤウニ少年審判官、少年保護司ナドヲ御採用ニナル規則モ、何レ出來ルコト、思ヒマスガ、其採用セラル、トキニ、普通裁判官トハ根本ヲ異ニスル、此人ヲ採用スルニハ、特ニ注意ヲ拂ハレテ重キヲ置カレルト云フコトハ、如何ナル箇條ヲ其資格ニスルコトヲ要セラフルノデアリマセウカ、更ニ詳シク御説明ヲ願ヒマス

○山岡政府委員 任用ノ規則ニナリマスト云フト、資格任用ト特別資格ヲ要セザル任用ト、斯ウ云フノガ我國ノ任用原則デアリマス、ソレデ高等文官任用令ニ依リマシテ、銓衡ヲ經テ特別ノ技術アル者ハ任用スルコトガ出來ル、斯ウナテ居リマス、其技術アリヤ否ヤト云フコトハ、銓衡委員會ガアツテソレニ依テ考ヘルコトデアリマス、本案ニ於キマシテ採用スルノハ、即チ特別ナル技術ヲ要スル會議デアリマセヌカラ、資格任用ニハナリマセヌ、故ニ保護事業ニ經驗ガアル者デアルトカ、或ハ教師ノ經驗ガアリマス者ハ、其銓衡委員ヲ經マシテ、直ニ高等官ニ採用サレルコトニナリマスケレドモ、官等ノ事ハ只今御質問ノ中ニハ何等御話ガゴザイマセヌガ、如何ナル待遇ヲ爲スカト云フコトハ委任官ノ待遇、保護

司ハ奏任官及判任官ノ待遇デアリマス、ソレハ御問ノ中ニ
ハアリマセヌガ、任用ノ方法ハ其人ノ來歴ヲ調査致シマシテ、
當局ト致シマシテ、是ハ少年審判官ニ適スル人デアル、御銓
衡ヲ願ヒタイト斯ウ云フ筋ニナリマス、十分現行ノ任用規
則ノ働ニ依テ、立派ナ人ヲ得ル確信ヲ持テ居リマス

○荒川委員 第四十九條、學校長ノ訓誡ニ委スル、處分
サレタ場合ニハ其本人ニ訓誡スベキ旨ヲ學校長ニ告知スル
ト云フ規定ニナッテ居リマスガ、其告知ハ其生徒ヲ持ッテ居
ル小學校長、中學校長、女學校長等ヲ呼出シテ、サウシテ
レヲ通告セラル、ノデアリマスガ、唯タ書面ヲ送付セラル、ノ
デアリマセウカ

○宮城政府委員 學校長デアリマシテ、子弟ヲ非常ニ愛
シテ居ル學校長ナラバ、自己ノ所ノ生徒ガ惡事ヲ爲シテ、例
ヘバ泥棒ヲ爲シテ、サウシテ今日ハ審判所ヘ呼バレタト云フ
ヤウナ場合ニ於テハ、子供ノ事ヲ心配シテ、其所ヘ御出ニ
ナッテ下サル人モアルカト思ヒマス、サウニ場合ニ於テハ、其
所デ訓誡ヲ御願シテモ宜シイデアリマス、サウデナク子供
ヲソレ程御愛シナラヌ、自己ノ學校ノ生徒ガ泥棒ヲシテモ
ア、云フ者ハモウドウデモ宜シイト云フヤウナ考カラ御出ニ
ナラヌト云フヤウナ場合ニ於テハ、書面ナリ或ハ其他便宜ノ
方法ヲ以テマシテ、此子供ハ斯ウ云フ惡事ヲシタノデア
ル、ドウカ其點ヲ御含ヲシテ、將來ノ訓誡ヲ能ク御願ヒスル、斯ウ
云フコトニナルカト思ヒマス

○荒川委員 人各、意見ガアリマスカラ、審判官ガ認メタ
場合ト、學校長ノ考ト違フ場合ガアルト云フコトハ豫想シ
得ラル、學校長ノ訓誡ニ委セラレテ、學校長ハ其少年ニ
對シテ意見ガ全ク異ル場合ニ於テハ、如何ニ處置セラレマ
スカ

○宮城政府委員 或ル一ツノ事項ニ付テ、例ヘバ泥棒ヲ
シタト云フコトガ明瞭ニナリマシタトキニハ、學校長ハ審判
所デモ此子供ハ泥棒ヲシタノデアルト云フカ、自分ハ見テ居
ラヌカラ、シタカシナイカ分ラヌト云フ風ニ強辯ヲサレ、バ
是ハ格別デアリマスカレドモ、審判所ニ於テ、此子供ハ何日
幾日斯ウ云フ所デ泥棒ヲシ、其前ニモ斯ウ云フ事モアッ
デアアル、サウ云フ性行ヲ持ッテ居ル子供デアリマスカラ、其御
積リテ訓誡ヲ加ヘテ戴キタイト云フコトニ付テハ、サウ御互
ニ見解ヲ異ニスルヤウナコトハナト思ッテ居リマス

○荒川委員 此法ハ刑罰法令ニ觸ル、行爲ヲ爲シタト云
フ其場合ニハ、只今ノ例ヲ取ッテ御説明ニナッテヤウニ事實
ガ證明シマスカラ、何等雙方ニ異議ハアリマスカレドモ、
本案ハ刑罰法令ニ觸ル、行爲ヲ爲ス虞アル少年、虞アルト
云フコトヲ認メル場合等ニハ、必ズ幾多ノ意見ノ相違ナド
ハ出テ來ルコトガアリハシナイカト思フ、隨テ嚮ニ大體ノ質

問ノ時分ニ、生理的ノ缺陷等ニ付テ御尋シタ譯デアリマス
今日教育家ノ中ニ於テ、不良兒童、不良青年ニ關シテモ、
屢々意見ノ違ハ起ルデアリマス、是ハ實際ノ事實ニ於テ教
育上往々アルノデアリマス、隨テ審判官ガ刑罰法令ニ觸ル、
行爲ヲ爲ス虞アリト見テ居ル場合ニモ、學校長ニ於テ其意
見ノ異ナルコトガアルト云フコトヲ豫知シナケレバナラヌト
思フデアリマス、斯ル場合ニハ如何ニ處置サレマスカ

○山岡政府委員 私ガ前ニ申シマシタ事ハ、矢張關係ガ
アル事デアリマシテ、此關係アル所ノ人ノ意見ガ違フヤウナ
コトデハ、本案ハ圓滑ニ運用ハ出來マセヌ、總テノ人ガ諒解
ノ出來ルヤウニナラナケレバ、此案ノ眞ノ精神ハ發揮シナイ、
ソコデドウ云フ風ニシテ今ノ問題ガ何等ノ爭ナク行クカト
云ヘバ、矢張根本ハ人ニ在ル、第一今日段々御問ニナッテ居ル
ヤウニ、司法方面ノ者デアルカラ、教育家ト違ッテ頭デアラウ
ト云フ所ノ爭ノ起キルト云フ——一寸諒解シ得ナイ節ガナ
イカト云フ——是ハ先ニ申上ゲマシタヤウニ、教育家ノ方モ
這入ッテ來ル、而モ教育ニ老練ナル小學校長デアリマスルト、
三十年モ之ニ從事シマシタ人デアル、中學校長ニ致シマシ
テモ同様、サウ云フ人ガ保護司トナリ、審判官トナリ、若クハ
矯正院長其他ノ方面ニ居ッテ、ソレカラ之ヲヤルデアリマ
スカラ、寧ロ此見解ハ當然期セズシテ一致シテ行カナケレバ
ナラヌ、ソコデ今度ハ教育家間ノ爭、只今御説ノヤウニ教育
者ニ於テモ、教育者同士デ爭フコトハ免レヌ、甲ノ學
校デハ不良デアアル、乙ノ學校デハ不良デナイ、寧ロ元氣ガア
テ好イ、其校長ガ間違ッテ居ルデアアル、斯ウ云フ事ヲ言ハレ
テ居ル、是ハ私モ耳ニシテ居ル、ドウモ其教育家デモ意見ノ
相違ト云フコトハ免レマセヌ、ソコデ最善ノ處置ヲ執ラナケ
レバナラヌ、ソコニ於テハ此審判ト云フ事ガドウシテモ出來
テ來ル、審判ハ即チ總テノ搜查ヲ致シマシテ、醫者ノ診察モ
致シ、ソレカラ其他社會ノ詰リ境遇ノ調ヘモ致シ、總テノ材
料ヲ纏メテ來テ、此子供ノ恐レベキ行爲トシテハ、斯ク々々
ノ行爲ヲシテ居ル、例ヘテ言フト何月何日ニ何處ニ行ッテ遊
ンデ、活動ニ遊ンデ居ッテ、何日間ハ浮浪シタト云フ、斯フ云
フ事實ヲ示シテ來テ、學校ヘ行ク途中デ何ヲシタ、斯ウ云フ
事實ガアル、カルガ故ニ此子供ト云フ者ハ、今一步越セバ犯
罪ヲスル、斯ウ云フ認定ヲシテ居ル、其認定ニ基キテ、是ハ
何人ノ異議モ許サナイ、即チ審判所ニ於テ保護處分デ以テ、
學校長ニ報告スルト云フコトヲ宣言スルニハ異議ハ言ハセ
ナイ、異議ハ言ハセナイト云フテモ、無理ナ事ヲシテハイケマ
セヌ、何人モ納得出來ルダケニ調査ヲスル、宣告シタ以上ハ
如何ナル人モ異議ハ無イ、ソコデ其事實關係ガ定マッテ、是
ハアナタ方デ宜シウ、アナタノ方ノ知識ヲ以テ宜シキ方法ヲ
執ッテ下サイ、ソレヲ受ケタ者ハ、私ハソレハヤリマセヌト言

テモ、ソレハイケナイ、法律ガ命ジテ居リマス、ソレハアナタハ
ヤラナケレバナラヌ、唯タ熱度ナリ、意見ガ違ッテ居ルデア
テ、人ノ問題——サウ云フコトハドウシテモ兩者相一致シテ、
總テノ人ガ共通シテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フ事ニナ
ル

○荒川委員 學校長トシテ大切ナル人ノ子ヲ預ッテ居ルニ
就テハ、中々其責任ハ重大デアリマス、責任上ソレニハ意見
ノ相違ガアル場合ニ、學校長ノ立場トシテ我ガ預ッテ居ル責
任アル少年兒童ニ對シテ、中々輕々ニハ行カナイデ、容易ナ
ラヌ關係ヲ引起ス場合ハ是カラ出テ來ルト思ヒマスカラ、學
校長ガドウモ其通リニハ事實ヲ認メルコトヲ得ナイト云フコ
トハアルト思ヒマスガ、其邊ハマア此法ガ行ハレルコトニナ
レバ、實際何等カノ調節モ取ラレルコトニ至ルデアラウト思ヒ
マスガ、併シ學校長トシテハ此所ハ大變ナ關係ガアルト思フ、
ソレデ御問シタデアリマス、次ニ第五十一條ニ必要ノ條
件ヲ指示シテ、サウシテ本人ノ保護者ニ之ヲ引渡ストアルガ、
引渡ヲ受クルコトヲ欲シナイ、受ケラレナイト云フ場合モ、ソ
レモ豫想シナケレバナラヌト思ヒマスガ、其場合ハ如何シマ
スカ

○宮城政府委員 第五十一條ノ運用ト致シマシテハ、保護
者ガ引渡ヲ受クルコトヲ欲セヌ、自己ノ所ニ引渡ヲ受ケマシ
テモ、此子供ハドウモイケマセヌト云フヤウナ場合デアリマシ
タナラバ、是ハ況シテ私共デモ駄目ナンデアリマスカラ、五十
一條ノ適用デハイケマセヌノデ、五十二條ノ方ノ保護團體
デアルトカ、又ハ適當ナル者デアリマス、斯ウ云フ者ニ其
子供ヲ委託シテ置クト云フ方法ヲ講ズル外仕方ガナイノデ、
五十一條ノ方デハ適當ナル保護者ガアリマシテ、近頃ハノ
ラクラ兒童ノ團長ト往來ヲシテ居ルコトニハ私ノ眼ガ届カ
ナカッタ、ソレデハ是カラ注意ヲ致シマス、言ウテ引渡ヲ受ケ
テ、サウシテ適當ニ將來保護シヤウト云フヤウナ場合デナケ
レバ、五十一條ハ働カヌト思ッテ居リマス

○荒川委員 第五十五條寺院ナドニ不良少年ヲ委託ス
ル處分ヲ致シタリ、保護司ノ觀察ニ付スル處分ヲ致シタリ、
或ハ感化院、矯正院、病院ナドニ送ルコトヲ處分シタ場合
ニハ、親權者、後見人、戶主其他ノ保護者アルトキハ其ノ
承諾ヲ經「シ」タルノデアリマス、是等ノ者ガ實際不
承諾ノ場合アリトスレバ、如何ニセラレマスカ

○宮城政府委員 五十五條ノ「刑罰法令ニ觸ルル行爲ヲ
爲ス虞アル少年」云々ト云フデアリマシテ、刑罰法令ニ
觸レマスレバ、本來ハ刑事處分ニ付スルノデアリマス、ケレ
ドモ、ソレデハ面白クナイト云フ場合ガアリマシテ、ソコデ刑罰
處分ニ付セズシテ、保護處分ニ付スルト云フデアリマス、カ
ラ、承諾ノ有無ヲ問ハヌノデアリマス、觸ル、行爲ヲ爲ス虞

アル少年ニナクマスト云フト、マダ刑法上ノ惡人ト云フ程度ニハ至ラヌデアリマスカラ、成ベク保護者ノ意嚮ヲ尊重シテ、保護者ガサウ云フ所ヘヤツテモ不服ハナイト云フ場合デナケレバヤラヌコトニスルガ、穩當デアラウト思フ、然ラバ保護者ガ不承諾ノ場合ハドウシタラ宜シイカ、斯ウ云フ場合ニドウスレバ宜シイカト云ヘバ、矢張五十一條ニ依ツテ働イテ、ソレナラハドウモアナタノ所デ引取ッテ呉レナケレバ困ル、先程ノ例ヲ引キマスト、今後ハノラクラ團長ト往復サセナイヤウナ所ニ、置イテ呉レナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ承諾シナカッタ場合ニハ、保護者ニ引渡スルヨリ外途ハナイト思ヒマス

○荒川委員 第六十八第六十九條ニ依リマスト、此少年審判所ハ、皆ナ普通裁判所ヘ附設スルカラ生ズル必要ノ規定ト思フデアリマスガ、サウデアリマスカ

○宮城政府委員 此點ハ六十八條、六十九條、是ハ少年ガ到底矯正院ニ入レ、感化院ニ入レ、其以下ノ軟キ保護處分デハ迎モイケン、此少年ハ遺憾ナガラ幼年監獄ニ入レナケレバナラヌ、矯正教育デハ、感化教育デハ駄目ダト云フコトヲ考ヘマシテ、刑事處分ヲヤリマストキノ規定ナノデアリマス、詰リ第六章ノ標題ニアル裁判所ノ刑事手續デアリマシテ、審判所ノ手續デハナイノデアリマス、左様ナ次第デ、六十八條ト六十九條ハ審判所ヲ附設スルト云フ規定デハナク、全ク刑事方面ノ規定デアリマス

○吉良委員 最早書デゴザイマスカラ、本日ハ此程度デオヤメヲ願ヒマス

○戸水委員長 本日ハ是デ止メマシテ、明日午前十時カラ引續キ開會致シマス

午後零時二分散會